

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	5,681	買掛金	124,644
預け金	989,737	未払金	137,531
売掛金	466,352	未払費用	134,218
仕掛品	41,630	未払役員賞与	3,996
仮払金	-	未払法人税等	6,131
前払費用	-	未払消費税等	4,612
流動資産合計	1,503,402	流動負債合計	411,134
固定資産			
有形固定資産			
機械及び装置(純額)	7,616		
工具、器具及び備品(純額)	-		
建設仮勘定	-		
有形固定資産合計	7,616	負債合計	411,134
無形固定資産		純資産の部	
ソフトウェア	186	株主資本	
無形固定資産合計	186	資本金	10,000
その他投資資産		利益剰余金	
長期貸付金	178	利益準備金	630
繰延税金資産	38,946	その他利益剰余金	1,128,565
その他投資資産合計	39,124	繰越利益剰余金	1,128,565
固定資産合計	46,927	利益剰余金合計	1,129,195
		株主資本合計	1,139,195
		純資産合計	1,139,195
資産合計	1,550,330	負債純資産合計	1,550,330

注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

[重要な会計方針に係る事項に関する注記]

1. 会社計算規則(平成18年2月7日法務省令第13号、最終改正 令和3年1月29日法務省令第1号)に基づいて計算書類を作成しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) たな卸資産
仕掛品.....・個別法による原価法

3. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産
定額法で計算しております。
耐用年数についてはビジネスごとに実態に応じた回収期間を反映し、次のとおり見積もっております。
・機械及び装置.....2年～10年
・工具、器具及び備品.....5年～10年

 - (2) 無形固定資産
・ソフトウェア
・自社利用.....・利用可能期間(5年以内)に基づく定額法

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要事項
 - (1) 消費税等の会計処理
税抜方式によっております。

 - (2) 連結納税制度の適用
連結納税制度を適用しております。

[貸借対照表に関する注記]

1. 有形固定資産の減価償却累計額	(千円)
建物	0
機械及び装置	6,345
工具、器具及び備品	264
計	6,610
2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務(区分表示したものを除く)	(千円)
短期金銭債権	466,352
短期金銭債務	198,725

[税効果会計に関する注記]

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	(千円)
繰延税金資産	
未払賞与	36,887
その他	2,059
繰延税金資産小計	38,946
繰延税金資産合計	38,946
繰延税金資産の純額	38,946

[金融商品に関する注記]

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、『富士通グループ・トレジャリー・ポリシー』に基づいて財務活動を行い、一時的な余剰資金は、事業活動に必要な流動性を確保した上で富士通ネットワークソリューションズ(株)に預け入れをしております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。
営業債務である買掛金並びに未払金は、概ね1年以内の支払期日であります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

資産

(1)現金及び預金、(2)売掛金、(3)預け金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

負債

(1)買掛金、(2)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。